

ペスタロッシー・フレーベル学会 課題研究

関東地区第5回 研究発表会報告

関東地区課題研究 第五回会合は、次のように行われました。そのレジュメは、添付資料として、添付します。

日時:2011年7月23日(土) PM14:00~17:00

場所:中央大学理工学部6号館8階、人文社会教室会議室(6814号室)

出席者

小田倉、岸、佐久間、豊泉

欠席者

鳥光、中島、湯川

研究発表者

佐久間 裕之(玉川大学)「イエナ・プランと「大学附属フレーベル幼稚園」

本来は、3月に予定されていた第5回研究発表会であったが、東日本大震災の影響で、節電対策がとられ、交通に影響が出て、予定を変更せざるを得なくなり、7月開催ということになった。当初の予定では、佐久間会員と中島会員が発表予定者であったが、中島会員の都合がつかなくなり、出席不可能となったため、今回は玉川大学の佐久間会員のみの発表となった。

詳しい内容は、レジュメを添付したので、それを参照して欲しいが、ペーターゼンがイエナ大学に付属して併設させた「フレーベル幼稚園」についての発表であった。

歴史的にはナチズムの台頭があり、内容的には、モンテッソーリの教育方法とも関連する部分があり、なぜ、ペーターゼンは、この時期に就学前教育施設を大学に併設したのかという点に関して多方面からの説明があった。

発表後の討論では、出席者のそれぞれの立場から、全般的に多方面から疑問が出され、発表者のそれに対する答えから議論は更に発展し、とても有意義な発表となった。最後に、出席者から感想が述べられ、終了した。

次回の研究発表会の予定は、次のように決定した。

日時:10月29日(土) PM14:00~17:00

場所:中央大学理工学部6号館8階、人文社会教室会議室(6814号室)

発表者・発表題目

小田倉 泉「『子どもいかに愛するか—家庭編—』に見るコルチャックの乳幼児の権利」(仮題)

中島 朋紀「しつけに関する親と子の関わり方」(仮題)

以上